

おじいちゃんも おばあちゃんも
近所のおじちゃん、おばちゃんも

みんなで子育て サポートガイド



市川市子育て支援課

平成31年2月版

はじめに

市川市では核家族化が進み、約95%が核家族という状況です。

また、出生率も 1.32 という、依然低い水準のまま推移しています。

生まれてくるまで赤ちゃんという存在に触れたことのなかったお父さん、お母さんもいるでしょう。

特に乳幼児期は、昼夜問わずに一日中泣くか、ミルクを飲んでいる赤ちゃんに悪戦苦闘しているお母さんがたくさんいます。

巷では「イクメン」や「孫そだて」という言葉が定着する感もありますが、これからは夫や祖父母などの家族の助けだけでなく、地域の人たちもみんなで子育てを応援していくという環境づくりが必要だと考えます。

地域のみんで子育てをサポートしてみませんか。



も く じ

1. 父母世代、祖父母世代へのアンケート結果より…………… 1
2. 今どきの子育て…………… 2
3. 月齢、年齢別でみる起きやすい乳幼児の事故…………… 4
4. 市内遊び場一覧…………… 6
5. 地域の子育て力を上げていこう…………… 9
6. 急な発熱やケガのときには…………… 10



1. 父母世代、祖父母世代へのアンケート結果より

平成 30 年 10 月に、市内全こども館に来所された親子さんやお孫さん連れの祖父母の方に、子育て、孫育てについてのアンケートを実施しました。父母世代は 841 名、祖父母世代は 68 名の方から回答をいただきました。以下の意見はアンケートの子育てについての自由記述から抽出したものです。



父母世代から・・・

「祖父母が関わってくれることで子どもの人間関係が広がる」
「子どもといつも二人きりなので、誰かいてくれると安心する」
「いい子に育てられていると言われるとうれしい」



祖父母世代から・・・

「お嫁さんからお礼の電話や動画をもらうとうれしい」
「作った料理をおいしいと食べてもらえるとうれしい」
「何かあったらいつでも手伝うことを伝えて、
子育てに安心感を与えたい」

※子育ては孤立しがちですが、そんな中で周囲の人たちが関わることで、お母さんは少しほっとできたり、祖父母世代も小さな子どもに癒されたり、ちょっとしたお手伝いで感謝されることで、喜びを感じるのではないのでしょうか。

たくさんの方が子どもに接することで、子どもはいろいろな人がいることを感じ、優しくされることで人に優しくすることを学んでいきます。祖父母に限らず、いろいろな大人が子育てに関わっていくことが、子どもにとってもお母さんにとっても、良い効果があると思われます。

2. 今どきの子育て

時代の流れとともに子育ての考え方も変わってきています。
今どきの子育てをお母さんと一緒に、新鮮な気持ちで体験しませんか。

だっこ

だっこは人への信頼感がはぐくまれるとして心の成長に大切なものとされており、抱き癖がつくことはあまり気にしなくてよいとされています。

授乳

母乳の場合は授乳間隔に関わらず欲しがる時に与えてよいとされています。

卒乳

自然とおっぱいを欲しがらなくなるまで授乳を続けてよいとされています。そのため、「断乳」と言われていたものも「卒乳」という優しい表現に変わっています。

うつぶせ寝

現在は乳幼児突然死症候群（SIDS）※1を防ぐためにもあおむけ寝が推奨されています。

離乳食

母乳やミルクの量が減ってしまうと考えられるため、離乳食の開始前に果汁を与える必要はないとされています。

オムツ外し

トイレトレーニングは、子どもの状況を見ながらゆっくり進めてよいとされています。

アレルギー ※2

現在はさまざまな食品でアレルギー症状が起きることが分かっています。食品を与えるときには、まずはご両親に確認をしてからあげるようにしましょう。少量でもアレルギー症状は強く出る場合があります。

※1 乳幼児突然死症候群（SIDS）とは

乳幼児突然死症候群とは、何の予兆もないままに、主に1歳未満の健康に見えた乳児に突然死をもたらす疾患のことです。

乳幼児突然死症候群（SIDS）から守るために、厚生労働省は次の3つのポイントをあげています。

- ① あおむけ寝（うつぶせ寝の方がSIDSになる可能性が高いことが調査により分かっています）
- ② 母乳育児（母乳で育てる方がSIDSになる可能性が低いことが分かっています）
- ③ 禁煙（保護者が喫煙をしているとSIDSになる可能性が高くなることが分かっています）

※2 乳幼児のアレルギーについて

乳児期に表れやすいアレルギー症状

- ① 皮膚症状（湿疹、じんましんなど）
- ② 呼吸器症状（咳、呼吸困難など）
- ③ 粘膜症状（口唇、粘膜の腫れなど）
- ④ 消化管症状（下痢、嘔吐など）

食物アレルギーの原因となるのは、乳幼児の場合、ほとんどが鶏卵、牛乳、小麦と言われています。アレルギー症状が疑われる場合は、自己判断で食物を除去せずに早めに医療機関を受診しましょう。



3. 月齢、年齢別でみる起きやすい乳幼児の事故

小さな子どもがいる家庭は環境的に細やかな配慮をする必要があります。危険から子どもを守るために、家の中をもう一度点検してみましょう。

新生児（ねんねのころ）

（起こりやすい事故）

- ・枕や布団等の柔らかいものによる窒息
- ・上の子が抱き上げようとして落としたり、ものを食べさせたりする。
- ・誤って上から物を落とす。

（予防ポイント）

- ・赤ちゃんから目を離さない。
- ・布団は固めのものを用意する。
- ・赤ちゃんの周囲には何も置かない。



1か月～6か月（首すわり～お座りのころ）

（起こりやすい事故）

- ・ベッドやソファなどから落ちる。
- ・誤って上から熱いものをこぼす。
- ・熱い湯のシャワーをかけてしまう。

（予防ポイント）

- ・一人でソファや椅子などに寝かさない。
- ・ベッドの柵は必ず上げる
- ・赤ちゃんを抱いたまま熱いものを扱わない。
- ・風呂やシャワーは事前に湯温を確認する。



7か月～12か月（はいはい～あんよのころ）

（起きやすい事故）

- ・たばこ、化粧品、コインなどをあやまって飲む。
- ・豆などの食品がのどに詰まる。
- ・炊飯器や加湿器の蒸気に触る。
- ・ストーブ、アイロンに触る。
- ・ドアに指を挟む。



- 浴槽に落ちて溺れる。
- ベランダや窓からの転落
- つまずきによる転倒
- 扇風機のカバーに指を入れる。

(予防ポイント)

- 危険なものは赤ちゃんのそばにはおかない。
- ストーブまわりや、台所等の危険な場所には柵を付ける。
- 浴槽に残し湯をしない。(10センチほどの水深でも子どもは溺れる)
- 浴室には鍵をかける。
- ベランダや窓付近には踏み台になるものは置かない。
- 鋭角な角にはクッションとなるカバーをする。

お出かけ時のポイント

- ベビーカーを使用するときは、赤ちゃんの様子に注意しましょう。
(特に夏季はアスファルトの照り返しが強く、ベビーカー付近の気温が上昇します)
- 子どもと一緒に歩くときは手をつなぎ、建物側に子どもを歩かせましょう。
- 自転車の時は、子どもを乗せたままその場を離れたり、赤ちゃんを抱っこしたまま運転するのは大変危険です。
- 車に乗るときはチャイルドシート、ジュニアシートを必ず正しく取り付けましょう。



4. 市内遊び場一覧

市川市内には赤ちゃんと一緒におでかけして、遊べるスペースがたくさんあります。お天気のいい日も悪い日も、ちょっとお出かけしてゆっくりと過ごしませんか。子育てアドバイスのできるスタッフも揃っていますよ。

こども館 **【対象】 0～18歳未満の子どもとその保護者**

館名	住所	電話番号
中央こども館	鬼高 1-1-4 生涯学習センター内	320-3337
中国分こども館	中国分 2-13-8 西部公民館内	375-6547
柏井こども館	柏井町 2-844 柏井公民館内	339-3754
曾谷こども館	曾谷 6-25-5 曾谷公民館内	372-2892
本北方こども館	本北方 3-19-16 東部公民館内	339-8936
市川こども館	市川 2-33-6	322-1404
大洲こども館	大洲 4-18-3 こども発達センター内	376-1212
南八幡こども館	南八幡 2-20-1 勤労福祉センター内	376-1118
田尻こども館	田尻 4-13-3 いきいきセンター田尻内	379-1863
信篤こども館	高谷 1-8-1 信篤公民館内	327-0141
本行徳こども館	本行徳 12-8 本行徳公民館内	359-1351

館名	住所	電話番号
末広こども館	末広 1-1-31 行徳支所内	359-1671
相之川こども館	相之川 1-3-7 南行徳公民館内	356-7381
塩浜こども館	塩浜 4-3 ハイウェイ塩浜 1号棟 103	396-1765

地域子育て支援センター 【対象】 0～就学前までの親子と妊婦

センター名	住所	電話番号
さかえ・こどもセンター	北国分 4-10-3 風の谷こども園内	373-0191
こあらっこ・ こどもセンター	国府台 2-9-13 国府台保育園内	373-1408
CMS市川大野 子育て支援センター	大野町 3-1438-1 市川大野ナーサリース クール内	339-3331
昭和学院もこもこ こどもセンター	東菅野 2-17-1 昭和学院短期大学内	326-2213
CMSいちかわキッズ 子育て支援センター	市川南 1-10-1 市川キッズステーション内	322-8733
チェリーズ・ こどもセンター	市川南 2-6-22 さくらんぼ保育園内	322-0064
わたぐも・ こどもセンター	原木 2-10-13 わたぐも保育園内	070-6657-7695
妙典保育園 地域子育て支援センター	妙典 6-2-45 妙典保育園内	398-1631
シーガル・ こどもセンター	幸 2-8-17 愛泉保育園内	396-2252
キッド・ステイ こどもセンター	香取 2-19-10 キッドステイ南行徳保 育園内	390-1180
地域子育て支援センター 結（ゆう）	広尾 2-3-1 広尾みらい保育園内	390-2227

親子つどいの広場

【対象】0～3歳までの親子と妊婦

つどい名	住 所	電話番号
八幡親子つどいの広場	八幡 4-2-1 八幡分庁舎 1階	332-8745
新浜親子つどいの広場	新浜 1-26-1 南新浜小学校内	701-5581
新井親子つどいの広場	新井 3-3-31 新井地域 ふれあい館内	312-6336



5. 地域の子育て力を上げていこう

市川では地域で子育て支援に関わってくれる住民の方々の力を必要としています。

地域の子育てカアップに、皆さんの力を貸していただけませんか？

【いちかわ子育て支援ボランティア】

市川市では年に1回「子育て支援ボランティア養成講座」を開いて、地域の子育て施設などでボランティアをしていただける方を養成しています。研修終了後にはお近くの保育園やこども館などで活動していただいています。

(問い合わせ) 子育て支援課 ☎711-1736



【いちかわファミリーサポートセンター】

子育てのお手伝いをする人(協力会員)、子育ての手助けをしてほしい人(依頼会員)、その両方(両方会員)とで会を組織化し、会員同士で子育てをサポートする活動を行っています。

保育園の送迎や預かりを協力会員の自宅で行っています。

(問い合わせ) いちかわファミリーサポートセンター本部
大洲1-18-1 ☎377-5503

いちかわファミリーサポートセンター妙典支部
妙典6-2-45 ☎701-2321

6. 急な発熱やケガのときには

【あんしんホットダイヤル（24時間・無休）】

病院、診療所などの案内、急な病気やケガなどの相談

☎0120-241-596

※言語・聴覚が不自由な方専用 FAX 0120-637-119

【日曜日・祝日や夜間に具合が悪くなったとき】

- 市川市急病診療所 ☎047-377-1222

診療日	診療時間	内科	小児科	外科
月曜日～金曜日	午後8時～午後11時	○	○	×
土曜日	午後8時～午後11時	○	○	○
日曜日・祝日 年末年始(12/30～1/3)	午前10時～午後5時 午後8時～午後11時	○	○	○

- 市川市休日急病等歯科診療所 ☎047-377-8888

診療日	診療時間	診療科目
日曜日・祝日 盆期(8/13～8/15) 年末年始(12/30～1/3)	午前10時～午後5時	歯科

(受診時に必要な物)

- 保険証、各種受給者証（例：こども医療費助成受給券）、服用している薬
※保険証などが無い場合は、自費診療になります。

(注意点)

- 応急処置のため、薬は原則1日分の処方となります。
- 応急処置で対応できない場合は、他の病院を紹介します。
- お盆、年末年始や連休、インフルエンザ流行時は、大変混雑することがあります。

「みんなで子育てサポートガイド」 平成31年2月

発行 市川市 こども政策部 子育て支援課

市川市八幡3-4-1 アクス本八幡2階

TEL : 047-711-1736 FAX : 047-711-1754



市公式 Web サイトにも掲載中

みんなで子育てサポートガイド

検索

